

テーマは、宮城県の「耕地面積及び担い手への農地集積の状況」

宮城県拠点の
Webサイトは
こちら→

耕地面積(田畑計)の推移(宮城県)

令和6年7月15日現在の耕地面積(田畑計)は12万3,900haとなっています。これは、昭和40年以降耕地面積が最大だった昭和43年に比べ4万8,200ha(28.0%)の減少となっています。

また、田畑別耕地面積については、昭和43年に比べ田耕地面積が3万1,000ha(23.4%)の減少、畑耕地面積が1万7,200ha(43.7%)の減少となっています(図1)。

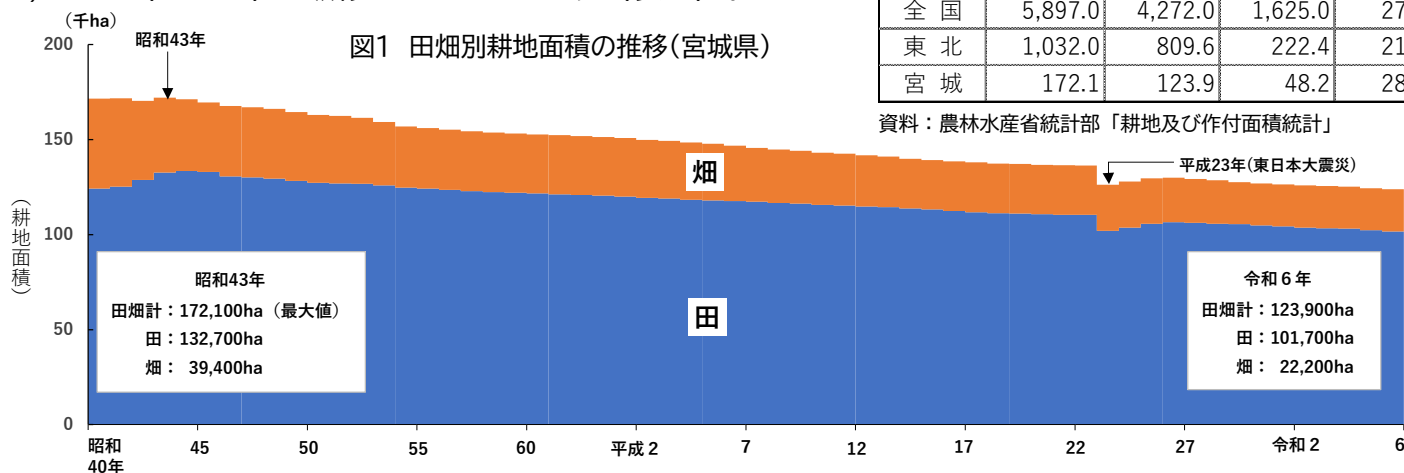
なお、全国及び東北の耕地面積(田畑計)については、昭和43年に比べそれぞれ162万5,000ha(27.6%)、22万2,000ha(21.6%)の減少となっています(表1)。

表1 耕地面積の減少割合(全国・東北・宮城)

単位: 千ha

	昭和43年	令和6年	減少面積	減少割合
全 国	5,897.0	4,272.0	1,625.0	27.6%
東 北	1,032.0	809.6	222.4	21.6%
宮 城	172.1	123.9	48.2	28.0%

資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

宮城県における市町村別の
田畑別耕地面積の状況(令和6年)

令和6年市町村別の田畑別耕地面積は、図2のとおりとなっています。

また、県全体の耕地面積(田畑計)に占める田耕地面積割合は82.1%となっています。

市町村別の田耕地面積割合は図3のとおりとなっており、県北部の市町村の割合が高くなっています。

図3 令和6年市町村別田耕地面積割合(宮城県)

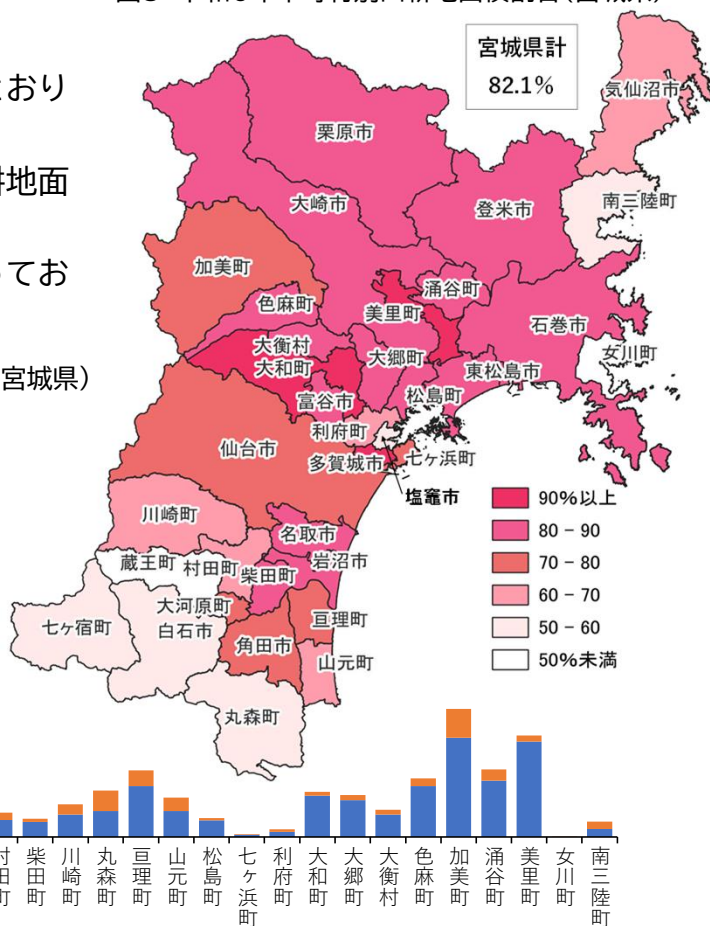
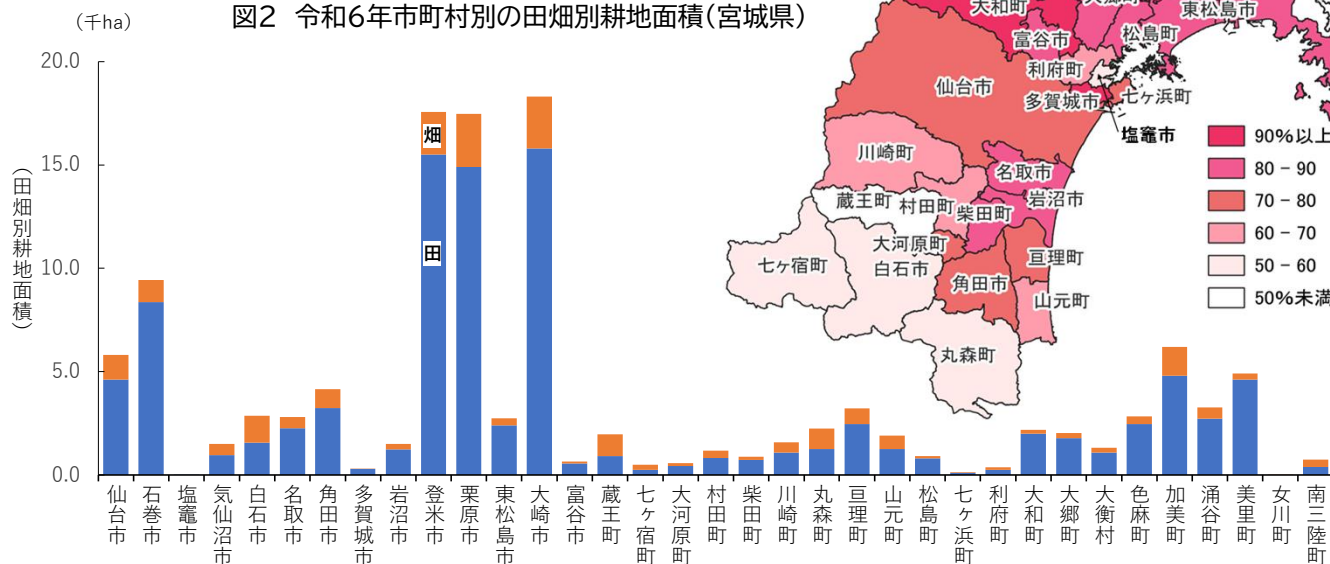


図2 令和6年市町村別の田畑別耕地面積(宮城県)



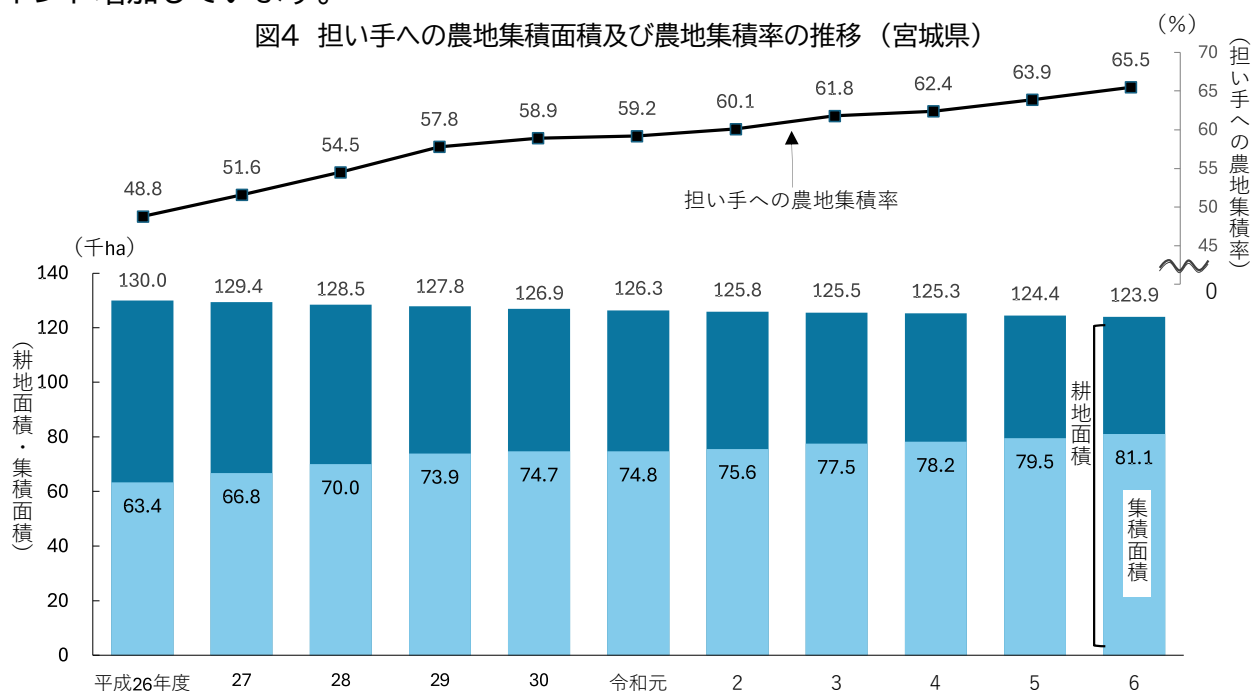
資料: 農林水産省統計部「令和6年市町村別統計」(以下図3まで同じ。)

1 担い手への農地集積面積の推移(宮城県)

令和7年3月末現在の担い手への農地集積面積は8万1,126haとなっています。

また、耕地面積に占める担い手への農地集積面積の割合は65.5%となっており、平成26年度に農地バンク（農地中間管理機構）が創設された以降毎年増加しており、平成26年度の48.8%から16.7ポイント増加しています。

図4 担い手への農地集積面積及び農地集積率の推移（宮城県）



資料：農林水産省経営局「農地中間管理機構の実績等に関する資料」（以下図5まで同じ。）

注1:農地集積率の算出方法は、「担い手」^{注2}が利用している面積^{注3} / 耕地面積 = 農地集積率

2:「担い手」の範囲は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農及び基本構想水準到達者

3:担い手が利用している面積は、所有している面積、借りている面積+特定農作業受託面積

2 市町村別の担い手への農地集積率

市町村別の担い手への農地集積率をみると、50～70%未満が12市町村と一番多くなっています（図5）。

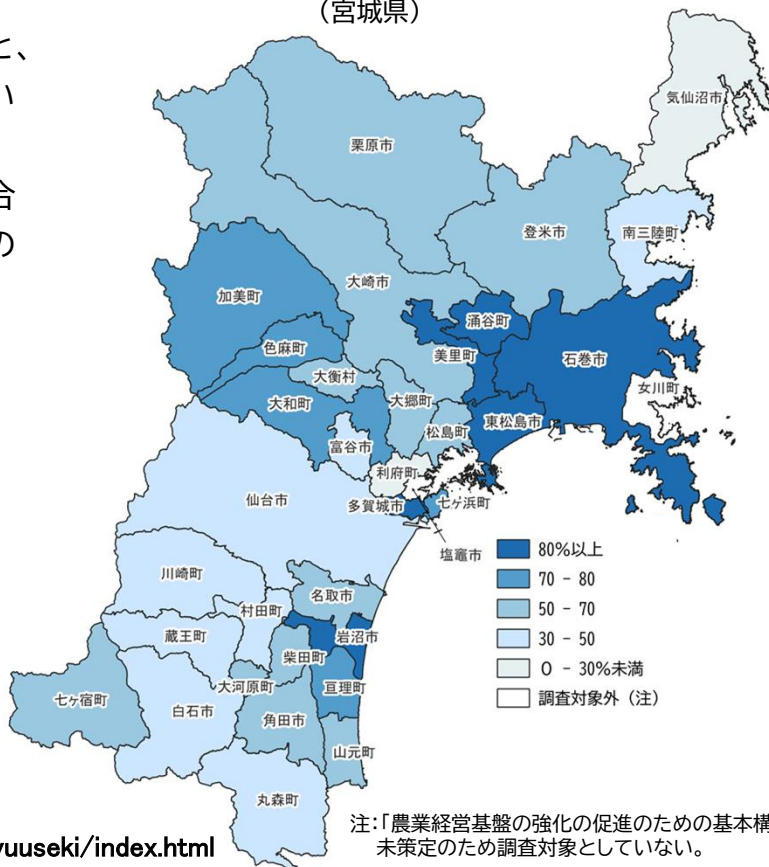
なお、耕地面積に占める田耕地面積の割合が高い県北部の市町村において、担い手への農地集積面積の割合が高くなっています。

担い手への農地集積の状況は、こちらからご覧いただけます。

→ 東北農政局ホームページ



図5 市町村別の担い手への農地集積率
(宮城県)



注:「農業経営基盤の強化の促進のための基本構想」
未策定のため調査対象としていない。